

平成23年行政事業レビューシート

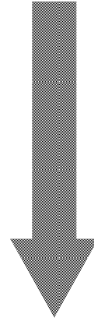
(文部科学省)

事業名	日米教育交流プログラム拠出金		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・平成22年度		担当課室	国際課企画調整室		企画調整室長 佐々木亨			
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1 国際交流の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育交流計画に関するアメリカ合衆国政府と日本国政府との間の協定		関係する計画、通知等	日米文化教育交流会議報告書(平成20年6月12日)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米両国間の知的交流、教育交流、草の根交流のさらなる強化が求められていることから、日米両国首脳の合意に基づき平成9年度から平成20年度まで実施したフルブライト・メモリアル・プログラムを再編し、両国間の教育・文化分野の交流の更なる促進と我が国の教育・学術・文化等の振興を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○持続発展教育(ESD)に関する日米教員交流プログラム:日米双方において、ESDに関心を有する教員を招へいし、ESDに関する意見交換・共同研究等を行うことにより、日米の教育交流を増進するとともに、ESDに関する理解を深める。</p> <p>○次世代の日米関係を担う人材育成プログラム:次世代の日米関係を担うリーダーとなりうる日本の人材、国際的に活躍できるビジネス関連の人材養成に資するため、日本の優秀な若者10名を米国の大学院に留学させる。</p>								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		当初予算	—	200	200				
		補正予算	—	0	△ 63				
		繰越し等	—	0	0				
	計	—	200	137					
	執行額	—	200	137					
執行率(%)	—	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)	
	日米教育交流プログラムによる日米間の交流人数	成果実績	人	—	—	105	106		
		達成度	%	—	—	99.1%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ESD日米教員交流プログラム参加教員数	活動実績(当初見込み)	人	—	—	95	—		
				—	—	(96)	(—)		
	次世代を担う人材育成プログラム採用者数	活動実績(当初見込み)	人	—	—	10	—		
			—	—	(10)	(—)			
単位当たりコスト	1,292,453(円/人)		算出根拠	執行額をESD日米教員交流プログラム参加者数及び次世代を担う人材育成プログラム採用者数で除したもの					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度限りで本事業を終了した。 平成23年度には「日米教育交流計画分担金」事業と統合し、「日米教育交流の推進」事業を開始した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止のうえ整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

日米教育交流プログラム拠出金

文部科学省
137百万円



【拠出金】

A. 日米教育委員会
137百万円

○ESD日米教員交流プログラム
○次世代の日米関係を担う人材
育成プログラム

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 日米教育委員会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	日米教育交流プログラムの運営に必要な経費	137			
計		137	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日米教育委員会	日米教育交流プログラムの実施	137-	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					